



川西市土木技術職業務紹介

川西市土木部

働いて感じたこと

土木技術職の仕事と苦勞

工事における苦勞

- ・ 工事の計画検討
- ・ 関係機関協議による設計修正（警察・河川・文化財・電気・ガス・水道・下水など）
- ・ 近隣住民などとの地元調整（要望・説明会）

維持管理における苦勞

- ・ 市民からの要望・苦情対応
- ・ 災害や事故、劣化などによる補修
- ・ 道路や下水管などの施設点検

土木技術職のやりがい

- **事業全体**（①計画→②設計→③施工→④管理）に関わることで市の**まちづくりに貢献**できる。
- 土木技術職は「**インフラ管理の最前線**」で活躍し、仕事を通じて**市民の生活を支える**大切な職種である。
- 携わった『モノ』が「**目に見えるカタチ**」で後世に残り、完成したときには「**達成感**」が得られる。
また、「造る」だけでなく、維持管理など将来にわたって携わることができる。

川西市で働く魅力

都道府県・政令指定都市・市町村の違い

都道府県

政令指定都市

市町村

〈 事業規模（土木事業） 〉

大

大

小

〈 地元住民との距離 〉

遠

近

近

〈 担当業務の範囲 〉

狭

狭

広

川西市の土木技術職として働く魅力

- ・ 川西市は商業活動等が密集する市街地から里山と呼ばれるような自然に囲まれた地域など働くフィールドが多様であり、市街地での新設整備、住宅団地での施設改良、山間部での災害復旧など幅広い業務を経験することができる。
- ・ 入庁から6～10年目の中堅土木技術職員数が多く、仕事の相談をしやすい環境がある。
- ・ 土木の内容のみならず、様々な研修を受ける機会があり、仕事の幅を広げることができる。
- ・ まちづくり技術センターや阪神北県民局へ出向し、そこで吸収した知識を業務に活かすことでさらなる飛躍につなげることができる。

川西市の土木技術職としてあなたも一緒に働いてみませんか？